ではままり 石包丁つでなあに?

《石包丁について》



nlぼラҕォラ いね ほ っ ヒ 石包丁は稲の穂を摘み取るための道具だよ! いね こくもっ しゅラかく か どラ々 稲などの穀物の収穫に欠かせない道具だったんだ!



《米の収穫》

日本では弥生時代に栄作りが始まり、収穫の時には稲の穂先だけを石色すで摘み取っていました。収穫した米は倉庫で長期間保管することができ、有力者はより多くの米を所有するようになりました。

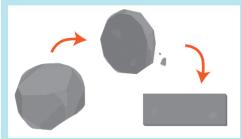






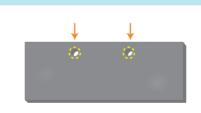
《奴国の丘石包丁の作り方》

①石を薄く割る



がたちととの 割って大まかに形を整えます。

②石の板に穴をあける



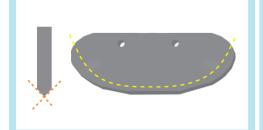
ひも 紐を通すための穴をあけます。

③角を削って丸くする



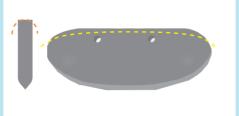
^{はなもの いしぼうちょう かたち ちか} 本物の石包丁の形に近づくように、 どんどん削りましょう。

④刃の部分をつくる



斜めに削ってとがらせましょう。

⑤持つところを丸くする



強く握っても手が痛くならないように、 が 角を落として丸くしましょう。

⑥穴に紐を通す



穴に麻紐を通したら完成です!

周りに生えている草を石包丁で摘み取ってみよう!